

丹波篠山市立篠山東中学校 学習・生活に関する学力向上プラン

本校では、中学1、2年生を対象に実施した丹波篠山市学力・生活習慣状況調査をもとに授業等の改善を行うため、本紙『学習・生活に関する学力向上プラン』を作成しました。学力の定着状況をご理解いただき、子どもたちの学習及び生活習慣の改善や学校の教育活動に対してご支援いただければありがたいと思います。

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果の概要

- 国語科では、
3観点のうち「知識・技能」「思考・判断・表現」の2観点については、正答率で全国平均とほぼ同程度または上回る良好な状況でした。残る1観点の「主体的に学習に取り組む態度」については、全国平均を0.7ポイント下回りました。また、問題別では、「1年生の文法」「段落の働きや話の構成」を問う部分において、全国平均を下回りました。
- 数学科では、
3観点の正答率について、「知識・技能」は9.8ポイント、「思考・判断・表現」は1.7ポイント、「主体的に学習に取り組む態度」は4.9ポイント、すべての観点で全国平均を上回る良好な状況でした。問題の内容別では、出題された7つの内容中、6つの内容で全国平均を4.6～14.3ポイント上回っており、学習内容の定着がみられます。残り1つの「データの分布の傾向」の内容についても、全国平均より0.3ポイント上回っています。
- 学習習慣・生活習慣等についての意識アンケートからは、
「いじめのサイン」「学級の絆」「社会参画」において、全国平均を2ポイント上回る結果でした。また、クラスの83%が、肯定的に集団（クラス）を捉えています。「成功体験と自信」「他者からの評価」においては、3～4ポイント全国平均を下回っています。

現在の課題および今後の学力向上方策

- 国語科
授業において、これまで以上に「条件作文」を書く練習をしたり、作文問題においては、あきらめることなく、最後までしっかり書き切ることを指導したりしていきます。「1年生の文法」においては、今後も随時復習を行いながら、定着を図っていきます。また、「段落の働きや話の構成」については、新たな説明文や物語教材に入るたびに、段落番号や小見出し、書き出しの接続語、組み立て図等を通して、理解・定着を目指します。
- 数学科
設定された目標値と正答率に差がある問題から、発展的な内容の問題と、複数の資料を比較して考える問題に課題がみられます。基礎基本の定着はできていますので、発展的な内容の問題にも主体的に粘り強く取り組むよう指導していきます。複数の資料を比較して考える問題は、できる限り授業の中でも取り入れ、グループ学習等を通して多角的・多面的に資料を読み取る力の育成を目指します。
- 『学習習慣・生活習慣等についての意識アンケート』
学習習慣や生活習慣の見直しや、学級の規範意識の高揚など、中学校生活の基盤になる面を今一度見つめ直す機会を設けることから始めます。日頃から自立し、先の目標を持った生活を送る意義を理解させ、また、自らの成功体験や達成感に気づかせ、自尊感情を育むことが、自信や挑戦につながると考えます。また、周りの人々の支えに気づき、感謝する心を育むことで、課題の解消に取り組みます。

【保護者へのお知らせとお願い】

本校では、今回の調査結果を生かして、お子様一人一人についての学習の在り方や生活習慣について指導方法を検証し、取組を充実させていきます。ご家庭におかれましても、子どもたちの家庭学習のあり方や生活習慣について今一度ご確認いただき、支援をよろしく願いいたします。

また、子どもたちの持てる力をさらに伸ばしていくために、周りの支えが何より必要です。個々の成長、そしてより良い集団づくりのために、学校と家庭・地域とが連携して子どもたちを支えていけますよう、ご協力をよろしく願いいたします。